

今月は説明文に取り組んでいきます。それぞれの回のポイントを参考にして、学習を進めてください。

◆第22回 説明文⑤／ことわざ・慣用句④

練成問題では説明文を学習します。話題が何かをつかんで文章を読むようにしましょう。また、文章構成を理解することで、筆者の主張を正しく読み取れるようになることが今回のねらいになります。形式段落ごとに、どんな内容が書かれていたのかをまとめる練習をしてみましょう。

語句はことわざ・慣用句を学習します。知らなかったものは、意味もふくめて覚えるようにしてください。ことわざ・慣用句辞典などを用いて、同じ意味の表現や、反対の意味の表現を調べ、ことばにたくさんふれるようにしてください。

◆第23回 説明文⑥／文図

前回に引き続き、練成問題では説明文を学習します。今回学習する問題では、指示語の読み取りに関するものが複数でできます。指示語の指示内容を正しく理解することは、読解においてとても大切なことです。指示語のあとに書かれている手がかりをおさえたいので、直前を読むように心がけてください。

語句は文図を学習します。主語、述語、修飾語の関係が正しく理解できているかを、文図を書くことで確認していきます。はじめに主語と述語を見つけ、それを書いてから、修飾関係を矢印でつないでいくようにすると、スムーズに文図が書けるようになります。

◆第24回 説明文⑦／外来語③

今回も練成問題では説明文を学習します。類比関係(イコールの関係)を見抜く練習をしていきます。同じ内容がどう言い換えられているのかに気をつけて、文章を読んでください。筆者の主張はいろいろと言い換えられながら、何度も繰り返されていきます。

語句は外来語を学習します。3年生だと耳慣れない言葉も出てきますが、これを機会に覚えるようにしましょう。ふだんから耳にした外来語は意味を確認するようにしてください。そうすることで語彙が増えていきます。

倍数算 過不足算 平面図形Ⅲ(周りの長さ)

第22回、第23回、第24回の授業では、「倍数算」「過不足算」「まわりの長さ」という中学受験の基礎になる単元を学習します。特に「倍数算」で学習する考え方はこの先も非常によく使いますので、しっかりと理解してほしいと思います。また、「過不足算」は3年生で出てくる文章題の中では難易度が高いですので、一度で理解できなくても繰り返し解説を見て粘り強く学習してください。「まわりの長さ」以降は図形の勉強が続きます。時間的な問題がありますが、1問1問ノートに作図をして問題に取り組んでいただくと、作図力も向上していきます。

◆第22回 文章題Ⅴ 倍数算

「倍数算」は最終的には“比”の単元を習わなければ全てを学ぶことはできませんが、3年生では「～倍」の扱いについて学習します。慣れてくると式だけで考える人も増えてきますが、はじめは必ず線分図を書いてイメージをつかんでもらいたいと思います。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 倍数算の基本となる問題です。必ず線分図を書くようにしてください。そしてもとなっている量を①とおくことに慣れていきましょう。

例題2 これも倍数算の基本問題です。線分図を書いた後、差に注目します。

例題3 例題2の応用です。半端な個数を先に取り除いてしまいます。

例題4 やり取りがからんだ応用問題です。線分図を書いて考えましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

- 1 基本的には例題 3 と同じ考え方ですが、少し線分図が書きにくい問題です。線分図の扱いに慣れるには良い問題です。
- 2 このレベルになってくると線分図なしでは勘違いをする可能性があります。逆に線分図をしっかりと書けばそれほど難しくはありません。しっかりと「差」に注目してください。
- 3 3 種類の数が出てくる問題になりますが、考え方は今までと同じです。最も枚数が少ない 1 円玉の枚数を①枚とおきます。
- 4 ③とほとんど同じですが、リンゴの個数はミカンの 2 倍であることに注意してください。
- 5 非常によく間違える問題です。108 cm は周りの長さであって、たてと横の長さの和は 54 cm であることに注意してください。
- 6 例題 3 の考え方を 3 種類の数に応用する問題です。線分図をしっかりと書いてから考えてください。
- 7 ⑥と同様の問題です。
- 8 初見で解くのは難しい問題です。割り算の式の意味を掘り下げて考えます。この考え方は是非覚えておいてください
- 9 これもよく引っかかってしまいます。最後に腐ったミカンの個数を加えることに注意してください。
- 10 代金と個数の両方の数が出てくるので難しそうに見えますが、一つ一つは基本の積み重ねです。じっくり考えてほしい問題です。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、**1**、**2**、**3**、**5**となります。

◆第 23 回 文章題VI 過不足算

3 年生で学習する文章題としては最高レベルに属します。線分図とは違った特殊な図を書いて考えますが、これは高学年になっても（過不足算を解くときは）よく使いますので、頑張って理解してください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 これは「差集め算」とも呼ばれる問題です。1 枚当たりの金額の違い（4 円）が集まった結果 48 円になったということを理解しましょう。

例題 2 例題 2～例題 4 については典型的な過不足算のパターンを 3 つ学習します。どれも書かなければいけない図は同じです。動画をしっかりと見て、この図の意味を理解しましょう。

例題 3 例題 2 と同様の考え方で解ける問題です。

例題 4 例題 2 と例題 3 の条件が 1 つずつ出てくる問題です。例題 2、例題 3 と同じようにして解きます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題 1 の、③と④が例題 2 の、⑤と⑥が例題 3 の、⑦と⑧が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題 1 と同じパターンの問題ですが、「4 分の差」というのは、言い換えると「12L の差」であることに気がつかないと解けません。難しいですが大切な問題です。

② ①と同様の問題です。「5 分の差」というのは何mの差のことなのかを考えましょう。

③ 過不足算の問題では頻出のパターンで、高学年でも出てきます。図をしっかりと書いて空席の意味をよく考えましょう。

④ ③の問題をさらに難しくした問題です。「7 人ずつすわると最後の 1 脚が 2 人がけになった」というのが「5 つ空席ができた」と同じ意味だと気づくと③と同じように解くことができます。

⑤ 「予定より 3 個多く買えた」ということはいったいいくらのお金が余っていたのかを考えます。

⑥ 相当に難しい問題です。まさと君の鉛筆を 7 本減らしてまりこさんと同じ本数にしたとき、代金の差がいくらかを考えます。今すぐにできるようにならなくても心配はありません。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ②, ③となります。

◆第24回 平面図形Ⅲ まわりの長さ

おもに正方形や長方形のまわりの長さの求め方について学習します。ひとつひとつの辺の長さを足し合わせるのではなく、辺を移動させてできるだけシンプルな図にすることで計算の手間が省けます。単に答えを出すだけでなく、積極的に工夫するように心がけましょう。また、考えるときはできる限りノートに作図をしてください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 やさしい問題を使って“まわりの長さ”とは何かを確認します。

例題2 (1)の図と(2)の図は、まわりの長さが同じになることを理解します。必ずノートに作図をして確認してください。

例題3 例題2と同様に長方形に変えて考えますが、半端な辺が出るのでその長さを足し忘れないように注意してください。このように、いつでもきれいな形に変えられるわけではないですが、それでもできる限り図を変形したほうが良いということを理解してください。

例題4 長方形に変形しにくい図形です。部分部分の長さをまとめて求めていきます。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③と④が例題2の、⑤と⑥が例題3の、⑦と⑧が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 実際に作図をするとそれほど難しくはありません。

② これも頭の中で考えるのではなく、作図をして考えてください。

③ (1)、(2)ともにきれいな長方形に変形できます。必ず長方形にしてから解いてください。

④ 例題3と同じでできるだけ長方形に変形して、半端な辺の長さを最後に足します。

- ⑤ これもきれいな長方形に変形できます。必ず作図をして解きましょう。
- ⑥ まわりの長さが与えられているので、それを利用して□の長さを逆算で求めます。
- ⑦ 正三角形の作図は3年生にとっては難しいですが、ぜひノートに作図をしてください。長方形に変形する問題と発想は同じです。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は①, ③, ④, ⑤となります。